若き心

KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学　広報誌

2008年　12月発行　No.63

臨床検査科1年仮装メンバー

学園祭の主役たち（撮影：天野 貴司）

特　集　**川崎学園祭**（短大ブログ編）

- 公開講座
- 授業・実習風景⑩／講演会
- 戴帽式・授章式・実習開始式
- 教員の活動紹介⑬／先輩から後輩へ⑬
- 上海訪問／中国からニーハオ!!
- 事務部から／川崎エコプロジェクト／キラリいい顔⑥
- インフォメーション

◆特集◆ 第34回（10月11日～12日）

川崎学園祭（短大ブログ編）

今回の特集は、川崎学園祭に向けて取り組んできた学友会実行委員の皆さんによるものです。学園祭開催までのエピソードや出来事などをBlog形式で書いてもらいました。文章中、現代っ子的表現があり、分かりづらい部分もあると思いますが、それも含めてお楽しみ下さい。

Information

統一テーマ
「Harmony～響きあう心～」

Harmony という言葉は、「調和」という意味を持っています。私たち一人ひとり欠けることなく、それぞれの個性を出し合って、一つのものを作ることの大切さを改めて感じて欲しいという願いを込めて、このテーマを選びました。

川崎学園祭 2008

今年の学園祭の様子をHPで見ることができます。
http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/
から上のバナーをクリック

MINMI 来場
10月11日（土）
17：00開場　18：00開演
場所：川崎学園総合体育館

DAIGO 来場
10月11日（土）
12：00開場　12：30開演
場所：川崎医療短期大学体育館

Diary

学友会役員会議 （投稿日：9月18日）

ほぼ毎日夕方から学友会の役員がそろってミーティングを行ってます。ぜぇーったい成功させるために、みんなでがんばっています☆
一度学友会室をのぞいてみて☺

結構しんどいヨォ。お手柔らかに…。

医短イベントの打ち合わせ （投稿日：9月18日）

今年の医短のイベントは、DAIGOさんのトークショウ!!
嬉しいことに予想以上の反響で、開催する私たちがちょっとびっくりしています。 当日は、どうなることでしょうか。先生方にも警備をお願いするなど、はじめてのことだらけでどのようにしてよいか想像がつきません。

短大イベントの買出し （投稿日：9月21日）

短大イベントのビンゴの景品を買いにイオンへ!! 雨の中、昨年度の学園祭委員長も一緒に行ってくれました。今年のビンゴの景品は、豪華です★短大に多くの人が来てくれることを祈ります。

わたしのテンションに付いて行けない昨年度委員長の後ろ姿…ご察しあれ。

タイムスケジュールづくり （投稿日：9月23日）

学祭当日のタイムスケジュールを考えているところです。参加してくださる方の盛り上がりを考えたり、出演してくれる人たちの時間配分を考えたりと…することがたくさんありすぎる!!
そして、みんなに見やすく、かわいい、看板作成にも力を注いでいます。これが結構楽しかったりするのです。

DANさんと打ち合わせ （投稿日：9月26日）

短大の学園祭ではいつもお世話になっている音響担当のDANさんです。若干、専門用語が、わからない…詳しく説明を加えていただきながら進めました。こちらの提案の小道具なども借りたりして楽しくなってきました。

なんだかちょっとプロっぽい☆

清掃活動 （投稿日：9月27日）

今年の短大の学園祭用スタジアムジャンパーはオ・レ・ン・ジ!!今年もどこよりも目立っています。どうですか。
自分のがわからなくならないように名前を書き込める場所も作りました。
これを着て、短大、福祉大、医大、リハ学院の４校合同で近隣地域のゴミ拾いをしました☆参加したみんなお疲れさまデシタ♪

地域の方々にもたくさん学園祭に来ていただいて、楽しんでもらいたいですね～日頃何かとお世話になりっぱなしですから…。

Mini Photo

エアーアーチ
今年はじめて、短大学園祭入口に設置されました。アピール度は抜群でした。

短大イベント紹介

案内所

10月11日（土）
9:45　仮装行列
10:30　じゃんけん大会
11:00　イントロクイズ
12:00　軽音部LIVE
14:30　なんでもコンテスト
15:30　ビンゴ大会

10月12日（日）
10:00　○×クイズ
10:30　アームレスリング
11:00　手話部コンサート
11:30　軽音部LIVE
14:30　早食い大会
15:30　大ビンゴ大回

平成20年　第3回公開講座
10月11日（土）
詳細は、本誌5頁をご覧ください。

仮装行列出場
川崎医療短期大学からは、臨床検査科の学生が出場し、川崎医療福祉大学でパフォーマンスの審査が行われました。

4校合同会議

（投稿日：9月27日）

毎回短大からぁ委員長・副委員長・会計・広報が主に会議に参加してましたが、今回は最後なのでパートリーダーさんも参加し、近況報告などをしてもらぃました☆
今回の会議の司会進行はなんと!!我らの頼りになる委員長森下が担当しました☆
１月から学園祭に向けての会議が数回行われてきました☆★

委員長ぁそのうち２回も司会進行を務めてくれました!!
委員長 お疲れさまデシタ♪♪

備品チェック

（投稿日：9月29日）

備品のチェックをし、印をつけていきました☆これで今年は備品タチが迷子にならぁだろぅwワラ
面白いものを発見!!
今年の模擬テントに登場するカモっ♪♪♪
半学友のＦ氏もぉ手伝い☆
ちょくちょくぉ手伝いしてくれるので助かってます♪

看板の作製・設置

（投稿日：10月2日）

短大体育館側入り口に看板を建てるため、事務の方々が造ってくださった看板の周囲にレィや造花の装飾をしました☆

看板完成しついに立ち上げ☆
事務の方々はめっちゃいろいろとお手伝いをしてくださっています☆
仕事が早い!!かつ…丁寧!!
感謝です♪♪♪

DAIGOチケット販売

（投稿日：10月3日）

12時20分からチケット販売なのに…。
１番早い人はなんと!! 10時から並んでいたそぅです☆11時30分ごろにはすでに100人近くが並んでいてビックリでしたw販売開始したのは予定より早く12時10分からで、10分もかからず完売ウィッシュ☆最後のチケットを手にしたのぁ保育科１年の写真の女の子達でした♪

この反響の大きさ。うれしい反面当日がどんどん!!どんどん!!怖くなってきました。

チケットを手に出来なかった人、ごめん。

エンドロール撮影

（投稿日：10月4日）

終夜祭で流すエンドロールを撮影してきました。
去年は『ヒーロー』でカッコイィ感じでした☆が
今年は…

『20世紀少年』

なんか面白い感じです♪♪
この写真は巨大ロボットを見て驚いている
というシーンですw

委員長…もっと驚いて下さい!! 笑
私は…おっちょ役を笑いながら指名されました。

どんな仕上がりになってるのか私たちもわからぁいので，めっちゃ気になります!!☆

お笑い大運動会2008
10月12日（日）
16：00開場　17：00開演
場所：川崎学園総合体育館

手話部コンサート
短大イベント2日目、手話部のコンサートが開催されました。たくさんの観客の方々に、日頃目にすることのない手話の魅力を充分にお伝えできたのではないでしょうか。
今年は、軽音部とのコラボレーションも行い、一緒に演奏を楽しむことができました。

模擬店紹介

TEAM	MENU＆PRICE	
CW1	たこ焼き	200円
NS2A	焼き鳥	80円
ソフトボール部	焼きそば	200円
	オムそば	250円
バレーサークル		
	フランクフルト	200円
バドミントンサークル		
	チョコバナナ	100円
清純派RT2	乙女ワッフル	200円
TEAMコンタミ	おでん	50円
手話部	フロート	150円
THE鬼斬り	焼きおにぎり	70円
	おにぎり	60円
バスケ部	タコ焼き	200円
Baseball-Lovers	牛乳寒天	200円
合気道部	わたがし	100円
F.R.Y	唐揚げ　3個	200円
茶道部	お茶会受付	300円

模擬店・科紹介準備
（投稿日：10月8日）

このころ教室では…

毎日遅くまで、学科紹介と模擬店の準備に追われています。
しかし、楽しそうです。
模擬店は、いかに効率良く売り上げるか!!
材料の調達やら看板の作成などなど…。
学科紹介は、学科のよさをアピール!!
当日が楽しみです。

いよいよ前日
（投稿日：10月10日）

いよいよ明日から学園祭!!
短大のさまざまなところでいろんな人が準備に携わっています。
学生、職員、教員、日頃言葉を交わさない人とも協力しあい、明日からの学園祭の成功を願って頑張っています。みなさん、ありがとう★

前夜祭
（投稿日：10月10日）

明日の準備が一通り整ったところで、
医福大のグランドで前夜祭が開催されました。カラオケ大会や菓子投げ、ビンゴ大会やダンスなど盛り上がりました。
参加した学生さん、なんだか日頃より服装に気合いが入ってる?! 短大からもいくつかの模擬店が出店されてましたが、まだまだ準備の続く私たちの口には入らず…明日必ず食べます!!

じゃんけん大会
（投稿日：10月11日）

じゃんけんの順番は始まる15分前に決めちゃいました（笑）みんな途中から集まってきて何より盛りあがって良かったです。
苦情も多かったので来年に向けて改善していきたいです。

イントロクイズ
（投稿日：10月11日）

どれだけ参加者が集まるか心配だったんですが、たくさんの方が参加して下さったので嬉しかったです！
参加して下さった方々に楽しんで貰えて本当によかったです☆彡
反省点もたくさん見つかり、勉強になりました(・∀・)

なんでもコンテスト
（投稿日：10月11日）

今年のなんでもコンテストは、
演奏と歌でした(^∀^)♪短大の会場が
素敵な音色に包まれました(*u∀u)
歌っていいですね(*^-^)b
ステージと会場の雰囲気がぐんと
よくなりました(=^▽^=)
まさに、川崎学園の人と人とのharmonyですね('-^*)y♪
出演して下さった方、ありがとうございました☆

DAIGOトークショー
（投稿日：10月11日）

DAIGOトークショー大成功に終わりました～☆
チケット販売では即完売(^-^)v福祉大や医大も完売したそぉで♪
当日は3時間前から並び始める人もいてビックリΣ(゜□゜)
整列･誘導･警備と大変でしたが無事終える事が出来て良かったです(*^▽^*)

第5回オープンキャンパス
高校生、保護者、教員を対象に開催されました。
学内見学や附属病院見学ツアー、学科別の相談コーナーや入試対策講座も開催されました。

進学相談
学科紹介では、各学科の特徴を分かりやすく伝えるために、展示の内容には、かなり力を入れていました。見るだけではなく実際に触れたり、体験したりと各学科趣向を凝らした展示内容です。

お茶会（茶道部）
きれいな着物に身を包んだ茶道部の学生により、お茶席が設けられました。にぎやかな学園祭会場の中で唯一、穏やかなひとときを送ることができる場を提供してくれました。

学友会役員紹介

委員長	NC2	長尾　優希
副委員長	MT2	長岡亜紀子
	MT2	川上　　計
学園祭実行委員長	RT2	森下　愛子
学園祭副実行委員長	NC2	松本　典子
	NC2	太田　侑希
会計	RT2	牧野　良美
	NC2	川舛　知穂
書記	MT2	千葉　奈々
	MT2	古川　寛子
総務リーダー	NC2	棒村　　歩

MT：臨床検査科　RT：放射線技術科
NC：医療保育科

早食い大会
（投稿日：10月12日）

今回、早食い大会で食べたものぁ…
うまぃ棒♪♪しかも水なしです(*^^*)
初め食べる本数を６本にしていたのですが、一番目の出場者の方が水なしうまぃ棒６本ぁキツイかった!!!!!
っとぃぅことで急きょ３本に減らしました(^^);;
時間がおしてぃましたが無事に終えることができ良かったです☆･｡*･｡*･
参加してくれた人、ありがとうございます。

ビンゴ大会
（投稿日：10月12日）

ビンゴ大会は２日間共たくさんのお客様が来てくだり､盛り上がって大成功で終えました(｀･ω･´)v笑"
それも当日来てくださったお客様も含め音響のDANさんや､先生方､学友のメンバー、そして買い出しや相談にのってくれた森下サンや松本サンのお陰ですm(_ _)m
本当にありがとうございましたm(_ _)m

少しのハプニングはありましたが、大きなトラブルは、なくて良かったです(∀)♪
司会進行は本当にゴタゴタ゛のカミカミですみませんでしたm(_ _)m

学科紹介
（投稿日：10月12日）

準備は、各学科で使う備品の数の調整におおわらわでした…。
さて、当日。例年、あまり学科紹介は人が来ない、と聞いていたので、去年の数を参考に学科紹介用パンフレットを２日間分として120部刷りました。
しかし…
１日で120部無くなりまして…。
これもDAIGO効果か?!!と思いつつ２日目用に70部（１日目より来場者が少ないと聞いているため）、皆がビンゴやってる間に刷りました。
しかし…
２日目、午前中だけで、残り15部という非常事態に。
「今日はDAIGOおらんのに!」と心の中で悲鳴を上げつつまた慌てて50部印刷して、これで大丈夫かなと一息。
結局終わって見れば200人前後の来場者があり、正に『嬉しい悲鳴』と言った感じでした。

模擬店
（投稿日：10月12日）

前夜祭を含めて３日間ありましたが、大きなトラブルもなく、学祭に来られた方はもちろん模擬店を出店してくれた方々にも楽しんでもえたのではないかなぁと思います
＼(^O^)／♪

今年も大きな問題もなく、無事に学園祭を終了することができました。
これも学園祭実行委員をはじめ、各イベントパートリーダー、スタッフ、および学生全員が、今年のテーマ「Harmony～響きあう心～」のように一致団結し、最後まで責任を持ってやり抜く事ができたからだと思います。
来年は、次期実行委員長を中心として、さらに磨きのかかった学園祭になるように応援していきたいと思います。
皆さん本当にありがとうございました。
学友会委員長　医療保育科2年　長尾 優希

ブログを書いてくれた
みんな　ありがとう♡
by 広報誌編集委員

Copyright (C) 2008 Kawasaki College of Allied Health Professions.

平成二十年　第二回公開講座

テーマ

発達障害児の保育と子育て支援

～発達が気になる子どもへの効果的な感覚運動遊び～

医療保育科 准教授 小河 晶子

八月二十三日(土)、平成二十年第二回公開講座が開催されました。発達障害児への発達支援を専門に研究している小河晶子准教授が講師をつとめました。参加者は地域の保育関係者や保育者を目指す学生、そして子育て中の保護者の方々など百名を越えました。

講演では、まず発達が気になる子どもの行動を感覚運動遊びの観点からどのように理解できるかについての説明がありました。感覚運動遊びとは脳に入ってくる様々な感覚情報のうち必要なものを取り込み、その場に適した行動ができるよう促す活動のことです。

身近にある普段は何気ない遊具を用いた遊びが、落ち着きのない子ども、ぼんやりしやすい子ども、不器用な子どもにとって、実は意味のある活動になり得ることを丁寧に話されました。また、その場で参加者に体験していただきながらの説明でしたので、会場はリラックスした雰囲気に包まれました。

リラックスした雰囲気

後半は会場に準備されたボールプールや丸太ブランコなどの大型遊具を用いた実演が行われました。その際、子どもを「触覚過敏」「高所、揺れに対する過敏」「強い刺激を求める」「筋肉の張りが弱い」の四タイプに分け、それぞれに適した遊びを提示されました。また、「大型遊具での遊び」「保育所・幼稚園にある遊具での遊び」「家庭にあるものでの遊び」と実際の場面を想定して提示されました。

学生による実演を交えた講演

目の前で遊びが次々にテンポよく披露され、参加者はすっかり引き込まれたようでした。実演は本学医療保育科三年生の学生が行い、小河准教授からの想定外の指示にも臨機応変に対応していました。

参加者からは「学生の実演があり、具体的でよくわかった」「遊びの視野が広がった」「帰ってすぐに取り入れることができる」等の感想が多く寄せられました。

（医療保育科　中井　靖）

平成二十年　第三回公開講座

テーマ

メタボリックシンドローム

～画像で診るあなたの健康～

放射線技術科 主任教授 今城 吉成・准教授 友光 達志・講師 林 明子

学園祭の初日である十月十一日(土)、平成二十年第三回公開講座が「メタボリックシンドローム ～画像で診るあなたの健康～」と題して、本学体育館にて開催されました。

前日の深夜から降り出した雨も当日の朝にはきれいに上がり、雲ひとつない秋晴れとなりました。そのこともあって、公開講座には、新聞やポスターを見て集まった一般の方々六十七名を含め百五十名の参加があり、途中急遽(きゅう)座席を追加する一幕もありました。

公開講座は、午前十時に本学放射線技術科副主任の村中明教授の司会で始まりました。まず、主任の今城吉成教授が基調講演としてメタボリックシンドロームの怖ろしさ、その原因および予防法について、分かりやすく解説しました。つづいて、川崎医科大学附属病院中央放射線部技師長でもある友光達志准教授が、メタボリックシンドロームの診断法の種類・精度を紹介し、その中の画像診断がいかに有効であるかを詳説しました。難しい内容にもかかわらず、准教授の軽妙な説明に会場からは笑い声も漏れていました。そして、最後に林明子講師が、簡便に実施できなおかつ、精度の高い画像診断の例として、超音波装置による腹壁脂肪指数(AFI: abdominal wall fat index)の測定を、本学学生をモデルに実践しました。東芝メディカル社のご協力で用意された超音波装置の画像がスクリーンに大きく映し出されると、会場内に軽いどよめきが沸き起こり、受講者の皆さんは息を凝らして見入っていました。

また、講演終了後、受講者の中から希望する皆さんに対して、林講師が実際に超音波装置で腹壁脂肪指数を測定しました。この測定は午後三時までつづき、実に二十七名の受講者がメタボリックシンドロームの画像診断を体験しました。さらに、今城主任教授が基調講演の中で紹介した標準体重・必要なエネルギー量・基礎代謝量などを調べることができるコンピュータの前にも行列ができました。

今城吉成教授による基調講演

林明子講師によるデモンストレーション

本年四月から国の制度としてメタボリック検診が義務付けられたこともあり、予想していた以上に受講者の関心も高く、盛況のうちに公開講座は終了しました。

（放射線技術科　原内　一）

授業・実習風景⑩

放射線技術科 放射線技術学総論

放射線技術科
天野　貴司

授業科目の一つである「放射線技術学総論」では、医療・医学の分野において、放射線技術がどのように活用されているかを概論（概要）として総合的に学びます。また、病院における診療放射線技師の役割と業務の内容について、歴史的な経緯を学びます。

今回は、放射線技術学総論の一部に組み込まれた「病院見学」についてご紹介いたします。

■放射線技術学総論

学生の多くは、将来、診療放射線技師になるという目標を持って入学します。一方で、将来の目標が曖昧なまま入学する学生も少なくありません。また、「診療放射線技師」という名前に憧れて入学したものの、大学での授業内容や病院で働く診療放射線技師の業務内容をほとんど知らない学生もいます。

しかし、三年間の厳しい講義・実習を乗り越えるには、診療放射線技師になるという明確な目標を早くから持つことが大切です。このため「放射線技術学総論」では放射線技術についての理解を深め、これからの放射線技術科の専門的な勉強に役立てることを目指しています。具体的には、診療放射線技師の成り立ちと変遷、チーム医療における診療放射線技師の役割、医療倫理・職業倫理、診療放射線技師教育の現状、画像診断部門・核医学部門・放射線治療部門における装置・設備と業務の概要について学びます。そして、実際に病院見学を行います。

■病院見学の概要

病院見学は、診療放射線技師の役割と具体的な業務の内容を肌で感じてもらい、診療放射線技師になるという「目標の確認」と「学習意欲の向上」を目的に行っています。今年度は、六月二十八日と七月五日の二日間、土曜日の半日を利用して川崎医科大学附属病院の中央放射線部で行われました。見学する部門は、「一般撮影」「透視」「放射線治療」「MRI」「CT」「核医学検査」の六部門です。診療放射線技師として働く姿を実際に見学し、検査内容や使用する装置・機器などの説明を指導教員から受けました。参加した学生は分からないところは質問したり、熱心にメモを取ったりしていました。

説明を聞きながら熱心にメモを取る学生

興味深く装置を覗く学生

■病院見学のアンケート調査

病院見学をより充実させるため、例年アンケート調査（評価項目による調査と感想・意見による調査）を行っています。別表は、評価項目の調査結果の一部です。理解は、教科書の写真を見るのとは違い、施設・装置の実物を見ることで、大きさや構造などを実感することができたとありました。また、これから学ぶ専門教科の理解にも繋がるという感想もありました。教員の説明については、説明の中でどうしても使わざるを得ない専門用語の理解に苦しんだという意見がありました。今回実施された「病院見学」の総合評価は、8.8点と非常に高い評価でした。学生たちは病院見学を、意義のある授業と受け取っているようです。

病院見学アンケート調査結果（学生数：55名）

■病院見学に興味が持てたか

持てた	49人	普通	6人	持てない	0人

■放射線部門の施設・装置の理解に役立つか

役立つ	53人	普通	1人	役立たない	0人

■診療放射線技師の仕事の理解に役立つか

役立つ	52人	普通	3人	役立たない	0人

■病院見学は今後の勉学に役立つか

役立つ	48人	普通	7人	役立たない	0人

■指導教員の説明は良いか

良い	39人	普通	16人	良くない	0人

■この病院見学の総合評価（10点満点）

55名の平均点　8.8点

教職員研修講演会

「コミュニケーションの苦手な学生に対する支援」

川崎医療福祉大学特任教授
佐々木 正美 先生

十月二十一日（火）、「コミュニケーションの苦手な学生に対する支援」というテーマで、昨年に引き続き、川崎医療福祉大学特任教授の佐々木正美先生による研修講演会が開催されました。最近はコミュニケーションの苦手な学生が増え、なかには発達障害が疑われる学生もおり、本学でもその対応には配慮しています。会には五十五名の教職員が参加し、より適切な学生支援ができるようにと熱心に受講していました。

今回は予め教職員から寄せられていた八件の質問を①発達障害の判別と障害告知について②就職支援について③学習指導・生活指導についての三点に集約し、これらについて佐々木先生にお答えいただくという質疑応答形式で行われました。質問の内容が具体的だったため、より実際的な対処方法をお聞きすることができました。支援が必要な学生をどのように理解し、対処していけばよいのか、また、進路についてはどう助言していけばいいのかなどを考えていく上での指標とすることができました。

（学生生活委員会委員　小河 晶子）

平成二十年度　戴帽式・授章式・実習開始式

実習に向けて決意新たに！

各学科ともに学外実習がスタートします。実習は、建学の理念である「人をつくる、体をつくる、深い専門的知識・技能を身につける」を体験的に学ぶ機会でもあります。これに先立ち、各学科にて式を挙行し、実習に向けての決意を新たにしました。

看護科　戴帽・授章式

九月二十日(土)に看護科二年生百十二名(女子百一名・男子十一名)の戴帽・授章式が挙行され、主任・副主任からキャップ(女子)と学章(男子)が授与されました。学生は看護の灯火(ともしび)を掲げ、厳かにナイチンゲール誓詞を唱和しました。

来賓として川崎医療福祉大学保健看護学科長の津島ひろ江先生にご出席いただきました。そして、守田哲朗学長、看護協会顧問の若林敏子先生、卒業生の助産師藤森雅美氏よりお祝いや励ましの言葉をいただきました。さらに川崎医科大学附属病院看護部、同窓会、在校生から花束が贈呈され、会場は華やかな雰囲気に包まれました。

最後に戴帽・授章生代表の亀徳友加里さんが専門職として学ぶ決意を表明し、看護の道に進む気持ちを新たにしました。

一人ひとり、願いを込めて

今年度の戴帽・授章式は直前の台風の影響で練習が十分とはいえませんでしたが、本番では立派に各自の役割を果たすことができました。

厳かな式

未来の男性看護師、がんばって！

お祝いの花束と記念撮影！

臨床検査科　ワッペン授与式

九月二十四日(水)に挙行されました。全員で学歌を斉唱した後、通山薫主任教授から二年生六十二名に対しワッペンが授与されました。その後、代表学生の中西正憲さん先導により決意表明の「臨床検査科授章式誓詞」が二年生全員で声高らかに読み上げられました。ワッペンは臨床実習を行うための基礎力が身についた証です。新たな決意を胸に病院実習が始まりました。

胸をはって左肩にワッペンをつけてもらいます

放射線技術科　授章式

九月二十七日(土)に挙行されました。はじめに、守田哲朗学長から式辞を頂き、続いて今城吉成主任教授から臨床実習開始を許可する証としてワッペンが二年生五十九名に授与されました。また、「激励の言葉」を卒業生の久米利明氏(国立病院機構・岡山医療センター)から頂き、そして川崎医科大学放射線医学(画像診断学)教室教授の伊東克能先生に記念講演を行って頂きました。

ワッペン授与の様子

介護福祉科　実習開始式

九月五日(金)に挙行されました。学長から実習許可、励ましの言葉をいただき、橋本祥恵主任教授から訓辞がありました。続いて、学生代表の秋山雄佑さんが宣誓を行いました。その後、社会福祉法人淳風福祉会沖中純子氏より「実習指導者の立場から初めて実習に臨む学生に期待するもの、学ぶ視点」と題してご講演をいただきました。また先輩からの熱い応援メッセージもあり、式を無事に終えました。

はじめての実習にむけて

医療保育科　実習開始式

六月十七日(火)に行われた実習開始式は、二年生が学外実習を開始するにあたり、本学の学生としての責任と誇りをもって実習に臨むことを誓い合うために実施しています。式では、梶谷喬主任教授から実習中の注意事項が伝えられ、続いて、守田哲朗学長から激励の言葉が送られました。最後に学生代表が宣誓を行い、保育実習への意気込みを誓いました。

激励の言葉を胸に

教員の活動紹介⑬

医療の人と生命倫理

ジレンマを解く鍵を見つける

介護福祉科 教授 藤原 芳朗

私たちの健康で快適な生活の営みは、近年の医療・科学技術の長足な進歩があって成り立っていることは疑いようがありません。しかし、これらの技術は人間の誕生から死に至るまでの間に、多くの簡単に解決できない問題を生み出しました。容易に善悪邪非が判断できない問題です。価値の多様化、倫理観の変貌というような簡単な言葉では対応できない状況といえます。今まで予想すらしてこなかった事柄が次々に展開されつつあります。

今年八月の山陽新聞には六十一才の祖母による代理出産のことが掲載されていました。娘夫婦の受精卵を子宮に移植して孫に当たる子供を産んだと報道されています。素直に「いいことですね」と喜びを分かち合えるでしょうか。不可能を可能にしたからといって手放しで喜んではいられません。「お母さんは一体誰なの」ということになります。社会制度上、倫理上大きな問題を包含することとなります。本来、医療の役割は自然の営みにわずかの人為を加え、どのような場合にも生命をうみだすため、あるいは生を永らえるために最大限の努力をするというものであったはずです。子どもさえわが胸に抱けるのなら何をしても許されるのでしょうか。

これはごく一例に過ぎませんが、医科学の進歩は、このような従来あり得ないことさえ可能にしたのです。クローン技術、遺伝子治療、脳死者からの臓器移植、体外授精、再生医療、尊厳死など、どれを取り上げても極めて複雑で多様な倫理的ジレンマを包含しています。そして、ここには許されるべきことと許されざることがあるわけです。仮に許されるとしたらどのような条件の下なのかを考える必要が出てきたのです。

このようにかつてはSFの世界であったことが次々に起こっているのが現在の医療技術なのです。そこで、医療関係者は、生命の誕生から死に関する事柄まで個人として、判断できるだけの基準を自己のものとしてもっておく必要があります。そのためには、各領域の専門知識は当然のこと、これらの事象に対して「どのように判断すべきか」という固有の指針をもつ必要があります。

『生命倫理学』の講義を通して、考え方の基礎となる倫理観や道徳観念、価値観をもった学生を育てていきたいと考えています。

先輩から後輩へ⑬

目標を持って

岡山白陵中学・高等学校養護教諭 太田 優美（看護科三十期生）

私は現在、中学・高校一貫の学校で養護教諭（保健室の先生）をしています。

川崎医療短期大学を卒業し、四年制大学に編入学しました。そのとき小学校の養護実習をして、安心感や自分の居場所などを求めてくるたくさんの児童を見て、小さい頃の自分を思い出しました。私の親は共働きでした。私は教室でも自分の居場所がなく、いつもどこか寂しくて、よく保健室に行っていました。そのため保健室に来る子どもたちの気持ちがよく分かり、そんな子どもたちの支えになれたらいいなと思い、養護教諭になることを決めました。

ちょっと診せて

初めは、前任の先生が残してくれた養護の仕事内容を書いた紙しかなく、一人で六学年を看るため、生徒に何か起こったらどうしようという戸惑いと不安と緊張の連続でした。また、不登校の生徒たちと接していて、自分の無力さやこの仕事の大変さに気付き、すごく落ち込んでどうしたらいいかと嫌になる時もありました。

そんな時、自分がどうして養護教諭になりたかったのかを思い返しました。いつも勉強や人間関係づくりなどに頑張っている生徒たちが弱音を吐くことができ、息抜きができる場所でありたいと思い、生徒のために頑張ろうと思えました。また、生徒が失敗を恐れず、自分で考え、一歩踏み出して行動できるように勇気をあげたり助言をしたり、時には厳しくしたりして一緒に成長していきたいと思っています。そして、生徒が保健室に訪れることによって相手の気持ちが分かる思いやりのある人になってくれたらいいなと思っています。

このことは働きはじめてから新たに感じたことで、これからの目標でもあります。生徒が「ありがとう」と笑顔で言え、少しでも気持ちが軽くなって保健室を出ていき、学校に来てよかったと思うことを夢見て、これからも試行錯誤しながら頑張っていきます。

皆さんも勉強や実習で大変と思いますが、何か夢や目標、希望をもって取り組んでいってほしいと思います。

生徒と一緒に

上海訪問

看護科二年
有村ゆかり

北京オリンピック真っ只中の八月十八～二十二日の五日間、看護科三年生三名と二年生三名、そして教員二名の総勢八名は、第九回上海職工医学院訪問団として上海を訪れました。

上海浦東国際空港では、現地の先生方や上海市衛生学校看護科の学生の皆様に温かく出迎えていただき、また、午後からは心のこもった歓迎会での歓待を受け、今回の訪問を心待ちにしてくださっていたことを嬉しく思いました。

この交流は、川崎学園と上海職工医学院との友好協力の絆を深めるため行われています。上海職工医学院の学校見学では、医療技術を磨くための教材教具の工夫が様々な形でされており、その中でも人体の各臓器がわかりやすいように保存・展示されていた標本教室には驚きました。また、上海市第一人民医院での病院見学では、外国人への対応システムや特別病棟などの見学を通して、看護師の役割や範囲において日本とは異なる点があることを知り、大変勉強になりました。そして、上海博物館や南京東路、豫園など上海を代表する観光地をはじめ、新しく開発されている松江地区などを見学し、歴史のある町並みから中国の歴史を感じ、日本文化との関係を知ることができました。

今回の体験を通して、上海の学生の方々とも互いの国の文化や学生生活についてたくさん交流ができました。多くのもてなしをして下さった上海職工医学院の皆様方と、ご尽力下さった本学園の皆様方に、深く感謝申し上げます。

豫園にて　参加学生でピース

上海市第一人民医院にて（右側が筆者）

中国からニーハオ!!

来年4月、看護科に入学する予定の張さんと沈さんです。
現在は聴講生として日本語の勉強に励んでいます。

◆張莉敏
ZHANG LIMIN

【出身】中華人民共和国　上海市
【経歴】上海市衛生学校卒業
【趣味】水墨画、旅行
【本学の第一印象】川崎医療短期大学の環境はとてもよくて、素晴らしいです。先生方も親切で、勉強する雰囲気が非常に盛んであると思います。必ず多くの有益な知識と先進的な医療技術が学べると信じています。
【メッセージ】岡山の空はとても青いです。初めて親と離れましたが、皆さんは笑顔で私たちを迎えてくれました。とても安心しています。皆さんに、お世話をしていただくことを心から感謝しています。

◆沈昕之
SHEN XINZHI

【出身】中華人民共和国　上海市
【経歴】上海市衛生学校卒業
【趣味】旅行、音楽鑑賞、ショッピング
【本学の第一印象】川崎医療短期大学は、立派な学校だと感じました。また、緑もいっぱいであり、先生方も寮の人も中国からの留学生である私たちにとてもやさしく、こんないい環境で勉強し、生活するのは本当に楽しいことです。これから一生懸命頑張りたいと思います。
【メッセージ】来日以来、先生方や舎監さんや寮母さんにいろいろお世話をしていただき、私は、だんだん日本の生活に慣れてきました。これから自分の日本語が上達するように頑張っていきたいと思います。自分の新しい成長を楽しみにしています。

惜しい

ソフトボール部

じゃんけん負けの準優勝

ソフトボール部は、10月に岡山県環境保健センターで開催された第44回岡山県臨床検査技師会ソフトボール大会において、準優勝という成績を収めました。

今大会の準決勝戦は、6点差を逆転する劇的な勝利でした。また、決勝戦は、現在大会4連覇中の倉敷中央病院が相手でした。3点リードで最終回を迎えたものの、4点を取られ一時は逆転を許しましたが、さらにその裏の攻撃で同点に追いつきました。しかし、勝敗は規定によりジャンケンで決めることとなり、ジャンケンに3対5で破れ、準優勝となりました。

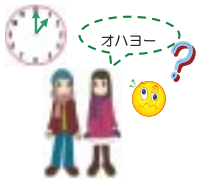
残念な結果とはなりましたが、この大会を通し、部員全員がひとつになれたことや多くの方との交流がもてたことはとても有意義だったと思います。なお、ソフトボール部は現在、全員臨床検査科の学生ですが、この大会では、臨床工学科3年生の淨徳徹郎君が快く監督を引き受けてくれました。他学科の学生の入部も期待しています。　（臨床検査科 原口麻希・平田直也）

学生生活指導重点目標（2008年10月－3月）

本学では学生のみなさんの基本的生活態度の向上を目指して、半年ごとに「学生生活指導目標」を定めています。学生生活を気持ちよく過ごせるように、また実習先・就職試験（面接）・職場で高い評価を得ることができるように毎日の生活の中で心がけてください。

❶時間や相手に合わせた適切な挨拶

朝は「おはようございます」
昼は「こんにちは」
夜は「こんばんは」
帰るときは「さようなら」
お礼は「ありがとうございます」
入室時には「失礼します」など
適切な挨拶を交わす習慣を身につけましょう。



❷対面コミュニケーション

携帯電話・パソコンのメールや掲示板でのやり取りが増えていることから「直接、口頭で伝える」ことが下手になっていませんか。
就職面接のとき、また社会に出てから困りますよ！日ごろから対面でのコミュニケーションを心がけましょう。

事務部から

ちょっと一息

事務部教務課
稲谷有実子

異常に暑かった今年の夏もあっという間に過ぎて、今は木枯らしも吹きはじめています。秋から冬にかけてのこの季節は、読書なんていかがでしょうか。日ごろ忙しい毎日を送っている中、手を休めて久々に絵本を開くのもいいかもしれません。一冊の絵本を紹介します。

「ぐるんぱのようちえん」（文・西内みなみ　絵・堀内誠一）は小さい頃に読んだことがある方もいるでしょう。象のぐるんぱはひとりぼっちで泣いてばかり。見かねた他の象たちはぐるんぱを働きに出します。でもぐるんぱは張り切りすぎてクッキーや皿、靴、ピアノ、車を大きく大きく作ってしまい、どこのお店に行ってもお払い箱。傷心のぐるんぱは十二人の子どもがいるお母さんと出会い、子どもたちの子守りを頼まれます…。

ひとりぼっちのぐるんぱは本当に胸が痛いけれど、自分で道を切り開き、生き生きとした結末は爽快です。すてきな絵と合わせて、子どもだけでなく大人にもグッとくる絵本です。

出版社：福音館書店

地球温暖化対策ワーキンググループだより NO.3

川崎エコプロジェクト

ちょっとのガマンで省エネ効果

平成二十年三月に川崎学園の地球温暖化対策推進委員会が設置され、学園あげての活動が本格的にスタートしました。

本学では、既に早い時期から教職員と学生が知恵を出し合い、費用をあまりかけずにすぐにでもできる省エネ対策から実践し、これまでに相当の成果をあげることができました。事業ゴミと家庭ゴミ（寮ゴミ）の分別の徹底化、節約の観点からの節水・節電（重油を含む）及びペーパーレス化の励行、印刷物の裏面使用等がその例であります。

さて、現在ワーキンググループが中心となって進めている作業のひとつは、防止対策がより的確にそして迅速に推進できるよう、本学独自のマニュアルの作成であります。内容は、本学のアクションプランに始まり、それを実行し点検・評価するためのチェックリスト、ゴミ処理手順や古紙類分別、リサイクルの方法等、すぐに実行できるよう項目毎にまとめられています。

マニュアル（初版）は各学科に配付し、学生諸君に対しては、講義室・学生寮等関係する場所に掲示し、日々の啓蒙活動に役立てたいと考えています。

（事務部長　小橋　誠）

キラリ いい顔 6

臨床検査科三年
平田 直也さん

お年寄りとの交流の中で ゲートボールって、最高！

みなさんの中で通学の途中、大学の近くの公園でお年寄りと一緒に、僕がゲートボールをしている姿を見かけた方もいるのではないでしょうか。

大学一年生の時に、第二十三回内閣総理大臣杯で、全国六位になりました。それだけではなく、県の予選大会では毎年三位以上に入賞するなど、常に全国大会出場が狙える位置にいます。現在は、週四回、講義の始まる前の八時三十分まで、ゲートボールをしています。また、地元でゲートボールのチームにも所属しており、長期休暇や実習や試験の合間でも月に一、二回は帰省しています。

なぜ、忙しい学生生活の中で、そこまでして地元に帰るかというと、何の前触れもなく訪れる死というものを体験することがよくあるからです。たとえば、夏休みに一緒にゲートボールをしていた方が、冬休みにいくと亡くなっていたということも、何度か経験してきました。

一番印象に残っているのは、高校生の時に癌で亡くなった方です。癌が発見された時は既に末期の状態でした。もっと早く発見することができたら、癌を克服できたかもしれません。この経験が、癌の早期発見をする臨床検査技師という職業を目指すきっかけになりました。この他に、ゲートボールを通じて国際交流も行って来ました。

このように、小二から現在まで、約十三年間ゲートボールと共に歩んできました。そのことに誇りを持っています。なぜなら、高齢化が進み、核家族の増加に伴い高齢者と接する機会が激減している中で、多くの高齢者の方々と接する機会に恵まれているからです。医療現場では患者の高齢者が占める割合は増大する一方であり、その中で、高齢者の方々の考えを直接聞いたり、感じたり出来ます。

卒業後は、岡山大学に進学することが決まっています。このようにゲートボールを通して得た知識と経験を活かし、より幅広い観点や方向から医療というものを見つめていきたいと思っています。さらに、今後の医療人としての人生に役立てていきたいと思っています。

第40回日本臨床分子形態学会
奨励賞受賞
臨床検査科　森谷卓也教授

この賞は毎年50歳未満の研究者１名に対して与えられるもので、先生の「乳癌の発生と進展に関する分子形態学的アプローチ」というテーマの研究が高く評価されたものです。この研究の成果は病理診断における大きな意義を持つものであり、今後の進展が大いに期待されます。

発達科学研究教育センター
発達科学研究教育奨励賞
医療保育科　神垣彬子助教

この賞は「保育士養成校における領域『人間関係』の授業のあり方についての研究－子どもの人間関係の形成を効果的に援助・促進するために－」というテーマの研究に対して与えられたものです。採択にあたっては研究の明瞭さと斬新さ、そして今日的課題であることが評価されました。

ペットボトルのふたを集めています！

800個で、ポリオワクチン一人分を世界の子ども達に送ることができます。学生ホール給湯器前の分別ゴミ箱にペットボトルキャップ回収箱を設置していますので、ご協力お願いします。

主要行事（1月～3月）

1月	5日 仕事初め 6日 放射線技術科2年臨床実習（～3月19日） 9日 第37回医療福祉教養講座 13日 看護科1年基礎看護学実習Ⅰ（～24日） 22日 放射線技術科3年第2回卒業試験 24日 医療保育科保育実習成果発表会 30日 一般入試前期
2月	6日 一般入試前期合格発表 18日 介護福祉科2年卒業時共通試験 25日 介護福祉科卒業研究発表会
3月	5日 健康診断（～6日） 13日 一般入試後期 16日 卒業証書・学位記授与式 17日 一般入試後期合格発表 20日 第1回オープンキャンパス

平成２１年度ＡＯ入試・特別入試・推薦入試結果

ＡＯ入試

試験日：9月27日（土）　合格発表：10月2日（木）

	看護科	介護福祉科	医療保育科	計
募集人員	15	15	15	45
志願者数	55	16	37	108
志願倍率	3.7	1.1	2.5	2.4
合格者数	32	15	35	82

特別入試

試験日：10月18日（土）　合格発表：10月24日（金）

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	介護福祉科	医療保育科	計
募集人員	35（3）	10（2）	7（2）	20（3）	10（1）	82（11）
志願者数	39（2）	27（4）	36（2）	2（0）	6（0）	110（8）
志願倍率	1.1	2.7	5.1	0.1	0.6	1.3
合格者数	36（1）	14（2）	11（0）	2（0）	5（0）	68（3）

（　）：社会人枠、内数

推薦入試

試験日：11月8日（土）　合格発表：11月14日（金）

	看護科		臨床検査科		放射線技術科		介護福祉科		医療保育科		計	
	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募
募集人員	35			10		10	32		27		114	
志願者数	16	22		23		38	8	4	16	13	40	100
志願倍率	1.1			2.3		3.8	0.4		1.1		1.2	
合格者数	16	19		14		14	8	4	16	10	40	61

平成 21 年度一般（前期・後期）入試日程

試験区分	願書受付期間	試験日
一般前期	平成 21 年 1 月 5 日㈪～ 1 月 23 日㈮【消印有効】	1 月 30 日㈮
一般後期	平成 21 年 2 月 23 日㈪～ 3 月 7 日㈯【消印有効】	3 月 13 日㈮

国　家　試　験　日　程

区　　分	試　験　期　日	合格者の発表
第98回　看護師国家試験	平成21年2月22日㈰	3月26日㈭　午後2時
第55回　臨床検査技師国家試験	平成21年2月25日㈬	3月31日㈫　午後2時
第61回　診療放射線技師試験	平成21年2月26日㈭	3月31日㈫　午後2時
第22回　臨床工学技士国家試験	平成21年3月　1日㈰	3月24日㈫　午後2時

編集後記

早いもので今年もはや師走を迎えました。皆様には、慌ただしい毎日をお過ごしのことと存じます。この度、広報誌「若きいのち」十二月号が発刊の運びに至りました。

私たち編集委員は常々、「若きいのち」という紙メディアを通じて、学生の皆さんや保護者をはじめ関係者の方々に本当に伝えたいこと、伝える意味と価値のあるものを、どういう形で伝達するかを考え、本当に伝えたいことが伝えられるよう編集作業に取り組んでいます。

さて、学生の皆さん、「若きいのち」を読んでくれていますか。世界子供白書によると、この二十一世紀を迎えた今日でも約十億人の人が本を読むことや自分の名前すら書くこともできないという実態が示されています。また、開発途上国では、一億三千万人以上の就学年齢の子供が基礎教育を受けられないまま暮らしています。豊かで恵まれている日本は、識字率は99・8％で世界でもトップであります。このように恵まれた状況を自覚し、全ページに目を通すことはもちろんのこと、読書にも勤しんで欲しいと願っています。

今回は学生の皆さんが目を輝かせて取り組んだ学園祭を特集しました。新しい試みとして、学園祭終了までの間、ブログに掲載されたものを綴る形で編集しました。学生の皆さんの生き生きとした躍動する姿が印象的であります。

後期の大変お忙しい中、多くの方々のご支援とご協力をいただき、ここに完成することが出来ました。今後とも温かいご支援・ご助言をいただき、「若きいのち」が、さらに、成長するよう委員一同、頑張っていく所存でございます。

（藤原忠昭）

川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」（63号）

平成20年12月発行

編集発行：広報誌編集委員会
名木田恵理子（一般教養・委員長）
藤原忠昭（庶務課・副委員長）
橋本美香（一般教養）　影本妙子（看護科）
近末久美子（臨床検査科）　天野貴司（放射線技術科）
立花博之（臨床工学科）　河邉聡子（介護福祉科）
中井　靖（医療保育科）　重政有里（庶務課・書記）

写真協力：二葉写真館

印　　刷：友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194
倉敷市松島316　川崎医療短期大学 広報誌編集委員会
電話：086-464-1032（庶務課）
Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ
http：//www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

既刊の「若きいのち」は、本学ホームページでご覧いただけます。